

みやもとフルーツファーム

みやもと ちひろ
 ☆【輝く女性】宮本 知弥さん ☆

(福井県鯖江市下新庄町)

「みやもとフルーツファーム」の代表である宮本知弥さんは、祖父のぶどう園を引継ぎ、ぶどう、ブルーベリーをそれぞれ10品種以上栽培しています。農薬をできるだけ使わず、体にも優しく、おいしい果樹を提供したいと日々挑戦しています。

さらに、県産食材をふんだんに使った、体にやさしいお弁当やお惣菜を製造し、市内外の直売所や姉の宮本采知(さちか)さんが営む菓子店「うちのぶどう」で販売しています。



農薬はできるだけ使わず、よく観察し、世話をしている。害虫は早期発見。



木の成長を重視して育て、大きくてハリのある甘いブルーベリーを提供

【経営概要】

経営面積：38a(ハウス、露地)

品目：ブドウ(シャインマスカット等)

ブルーベリー

加工(弁当、総菜)



「うちのぶどう」には知弥さんが育てた果物を使ったスイーツが並ぶ

【女性活躍のポイント】

1. こだわりのあるものづくり

- ・とにかくよいものを作りたいと考え、失敗したら違う方法を試すなど挑戦し続ける。
- ・農薬をなるべく使わない、食材を吟味するなど、体にやさしいものを提供している。

2. やりたいことに自由に挑戦

- ・自分なりの方法や自分のペースで、自由に挑戦することができる。
- ・農作業の一連の流れ、その過程が楽しい。好きで始めたことであり、フル回転でも楽しく取り組める。

3. お客さんからの声が原動力

- ・「うちのぶどう」の店舗で、お客様の反応が分かる。
- ・「今年のぶどうはいつから?」「おいしい」など声をかけてもらえる。

【宮本 知弥さんからひとこと】

- ・千葉県で競走馬の厩務員として働いていましたが、祖父が続けてきたぶどう園を継ぐ決心をし、就農。2年間の研修を経て、現在就農5年目です。
- ・生き物が大好きです。馬も植物も生き物なので、1頭1頭、1本1本違うところが共に面白いところだと思います。難しいことも多いですが、楽しんでいきます。
- ・農薬を使わないように害虫は捕殺します。虫は平気だけど、かわいそうだと思ってしまうので、虫を殺すのは苦手で、「ごめんなさい」と言って川に放しています。
- ・「福井のブドウといえばここ!」と言ってもらえるように、農園をPRして、県外からも問い合わせがくるぐらい有名にしていきたいです。
- ・姉とは大の仲良しで、心ざけ合いながら過ごせる良い関係です。姉が営む「うちのぶどう」ともっと連携して、ともに経営を伸ばしていきたいです。



仲良し姉妹の采知さん(姉:左)と知弥さん(妹:右)



体にやさしいものを提供することを一番に考える知弥さん